

読み方は
バイラルラー

БАЯРЛАЛАА

ありがとう
の意味です。

日に日に世界中で新型コロナウイルスが感染拡大していったため、モンゴルでは入国規制や教育機関の休校の措置が緩和されず、子供たちに授業をすることができませんでした。最後の活動期間に子供たちと過ごすことが出来なかったのは、本当に残念でありませんが、1年9カ月の活動について振り返りたいと思います。

活動のまとめ

①同僚とTTで図工や算数の授業を行う。



- 本時の目当て、絵の描き方について説明したものを板書すること。
- 学習道具を揃えることが出来ない児童には身の回りにあるもので代用すること。例えば、
筆洗いバケツ→ペットボトル
パレット→牛乳パック
- 落ち葉など身の回りにある物を材料にして授業をすること。

- 児童が自ら考え、より理解を深めることが出来るように発問の工夫、グループでの話し合い活動を行うこと。
- 児童の理解を助けるための手立て（ワークシート等）
- 実態などに応じて遊びを取り入れた学習を取り入れること。



②授業研究に協力し、教師に対して児童中心の授業方法を紹介する。



配属先や他県に出向き、セミナーや研究授業を行った。モンゴルの教師や児童の実態を踏まえ、モンゴルの教育に必要な授業の工夫の仕方について、実際に授業をしながら伝えた。

③可能な範囲で日本語・日本文化紹介をする。

広島風お好み焼の試食会、日本語クラブ、広島原爆授業、Skypeで日本の学校と交流会、リサイクルの授業を通して、日本について紹介をした。



配属先の先生方の感想

小学校の先生(校長を含む)14名にアンケートを取った。(自由記述のため回答者は重複している場合がある。)

<日本の授業のやり方で学んだこと、知ったこと>

- ・子供たち一人一人に丁寧に教えること。3
- ・全員を授業に参加させること。3
- ・授業の目当て(本時の授業で達成すべき目的)を定め、みんなで達成すること。3
- ・授業計画をシンプルにすること。(1回の授業でたくさんの情報を詰め込まない)2
- ・授業計画の方法について。1
- ・授業の導入で前時の復習をすること。1
- ・児童に学習意欲を高めさせること。1
- ・身近な物を使って、分かりやすく教えること。1
- ・PDCAサイクルで授業を行っていた。1

<ボランティアと一緒に授業をして、良かったかどうか1~5で評価>

13名:5点 1名:4点

以下理由

- ・子供たちにとって分かりやすい授業だったから。4
- ・子供たちにとって興味が湧く授業だったから。3
- ・子供たち一人一人、丁寧に教えていたから。3
- ・子供たち全員を授業に参加させていたから。2
- ・子供たちに成果があったから。2
- ・子供たちの年齢に適切だったから。1
- ・勤勉であったから。1
- ・たくさんのことを学べたから。1
- ・すべてのことに愛情を持って取り組んでいたから。1

活動を終えた感想

配属先に恵まれ、とても充実した1年9カ月の中で、私にとって、とても良い経験となりました。例えば、より良い関係を築くコミュニケーションの仕方、譲れる部分とそうでない部分の見極め、人を動かすための伝え方、自分の必要性や役割などについて考えることを通して、成長できたと思います。

また、”海外で教師をしたい”という長年の夢は、どんな悩みや辛さもポジティブに変えることのできる大きなパワーになると思いました。日本の教育現場では、子ども達にモンゴルや世界に目を向ける場を設けるだけでなく、夢を実現する楽しさや喜び、それを支えてくれる周りの方々に感謝する気持ちを忘れないことなど、私が得た経験を還元していけたらと思っています。モンゴルでの活動は終わりましたが、日本でまた教員として頑張っていきます。これからもよろしくお願いします。